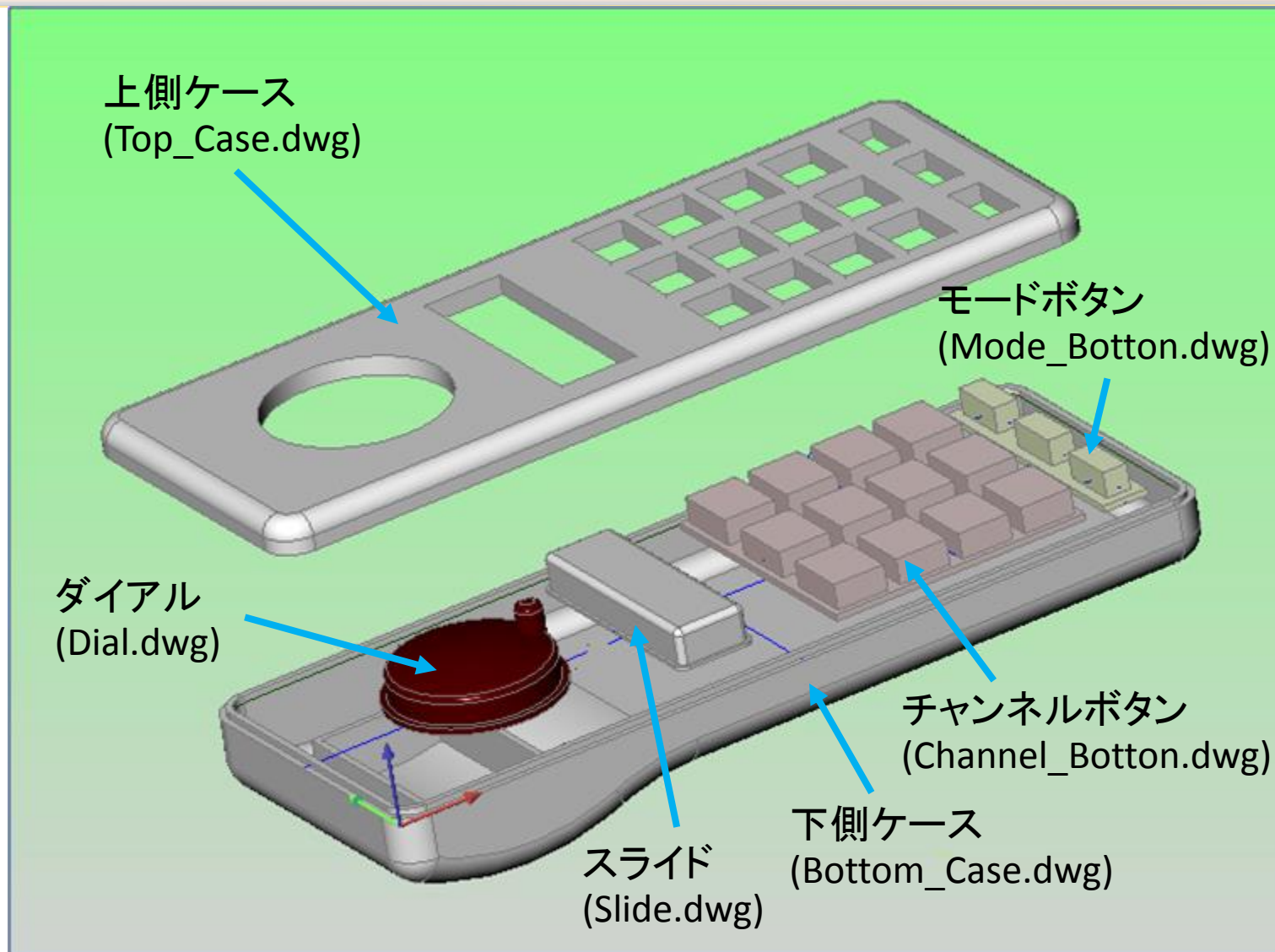


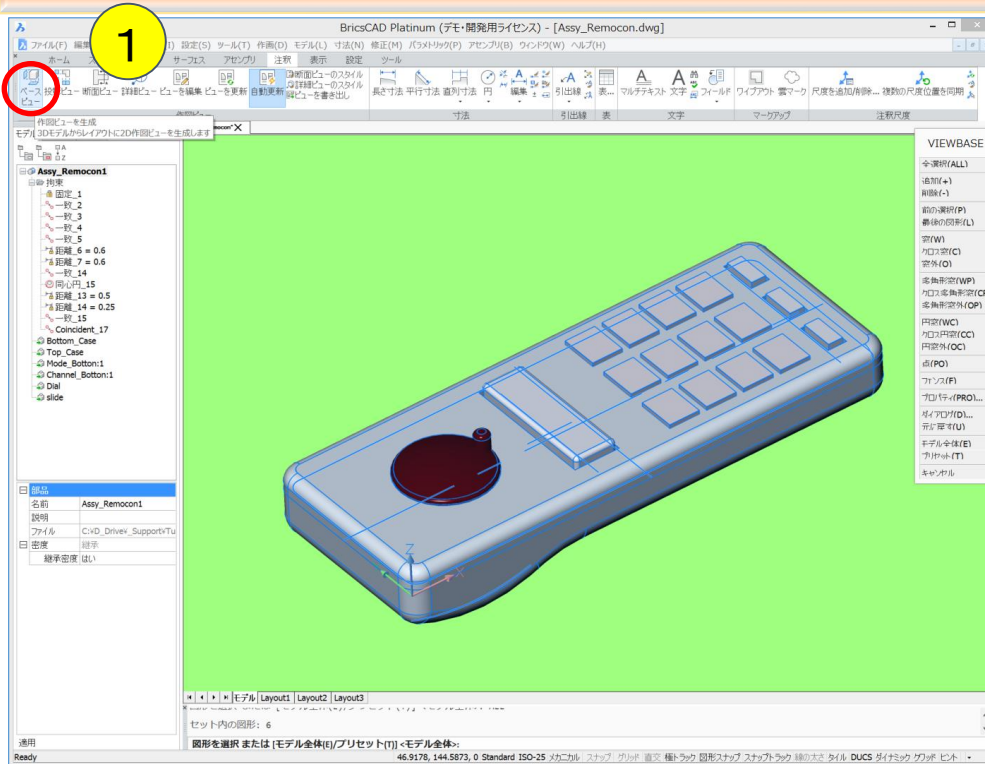
BricsCAD 3D モデリング基礎編(図面の作成)



各部品名 (dwgファイル名)

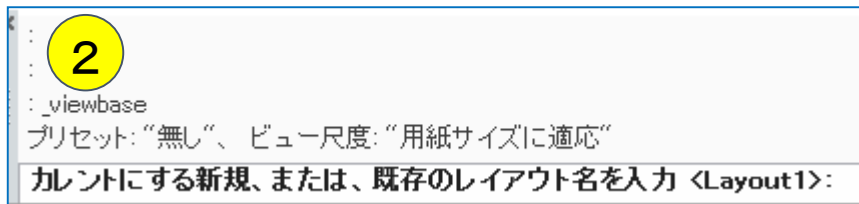


4. 組立図、部品図の作成(レイアウトの作成)



1. アセンブリ全体を選択し、メニューの「注釈」「ベースビュー」を選択します。

2. レイアウト名は「Layout1」そのままで「ENTER」、ビュー配置を行います。



4. 組立図、部品図の作成(レイアウトの作成)

1 VIEWBASE
尺度(S)
エッジ(T)
オリエンテーション
投影(P)
アイソメ(I)
終了(E)
キャンセル

2 VIEWBASE
第一角法(F)
第三角法(T)
終了(E)
キャンセル

3 VIEWBASE
尺度(S)
エッジ(T)
オリエンテーション
投影(P)
アイソメ(I)
終了(E)
キャンセル

4 VIEWBASE
4個のビュー(4)
9個のビュー(9)
5個のビュー(5)
10個のビュー(10)
標準尺度(S)
カスタム(C)
終了(E)
キャンセル

5 モデル Layout1 Layout2
ビューの位置を選択 [尺度(S)/エッジ(T)/オリエンテーション(O)/投影(P)/アイソメ(I)/終了(E)] <終了>P
投影の種類を選択 [一角法(F)/三角法(T)/終了(E)] <第一角法>T
ベースビューの位置を選択 [尺度(S)/エッジ(T)/オリエンテーション(O)/投影(P)/アイソメ(I)/終了(E)] <終了>S
ビュー尺度を調整 [4個のビュー(4)/9個のビュー(9)/5個のビュー(5)/10個のビュー(10)/標準尺度(S)/カスタム(C)/終了(E)] <4ビュー>C
尺度を入力 <0.500000>:1.0

5. 尺度は 1.0 を入力してください。

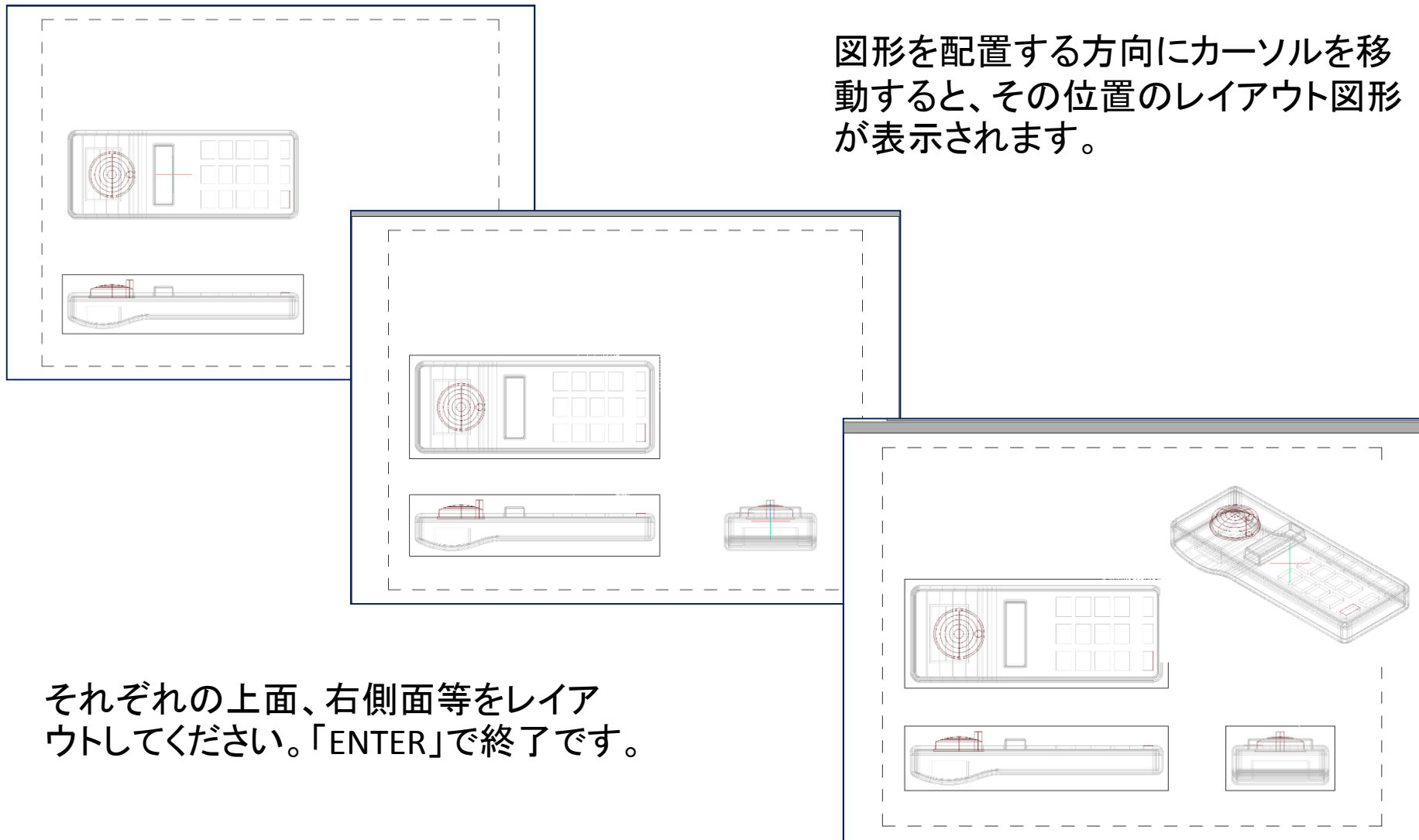
6

VIEWBASE
尺度(S)
エッジ(T)
オリエンテーション
投影(P)
アイソメ(I)
終了(E)
キャンセル

番号の順番に作業を行ってください。

4. 組立図、部品図の作成(レイアウトの作成)

図形を配置する方向にカーソルを移動すると、その位置のレイアウト図形が表示されます。

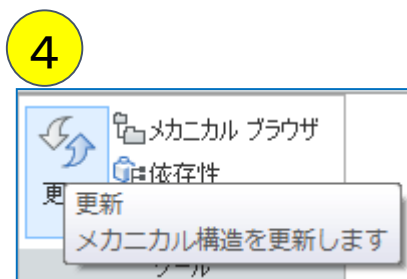
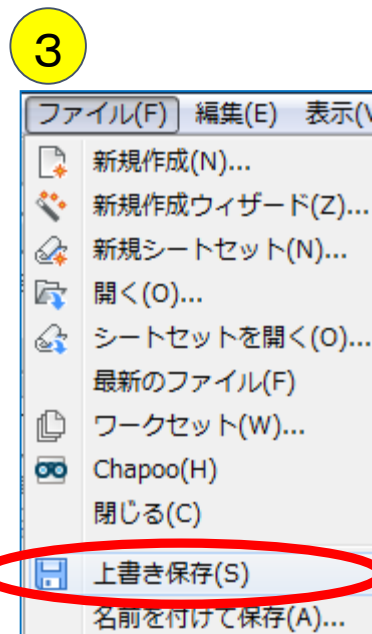
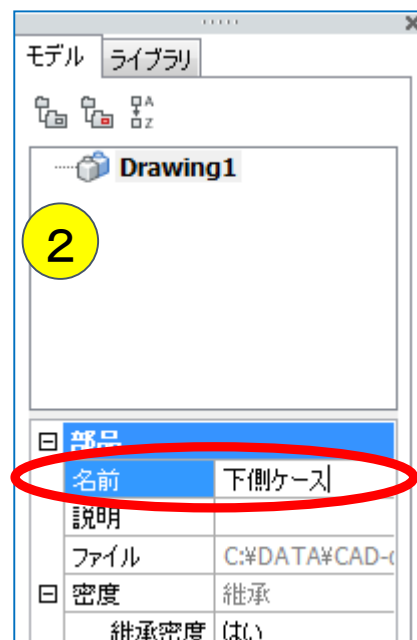
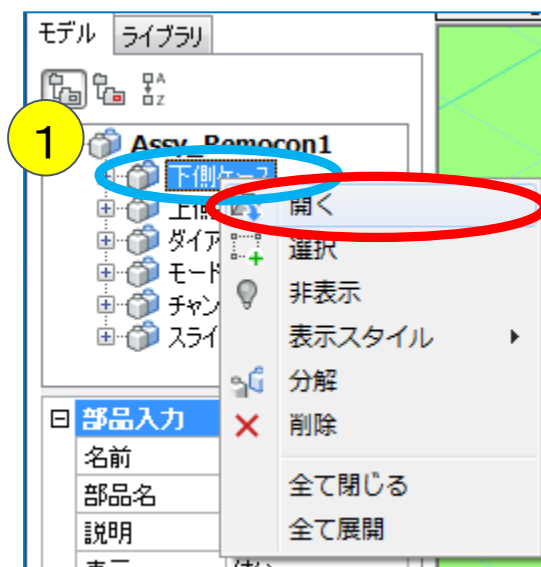
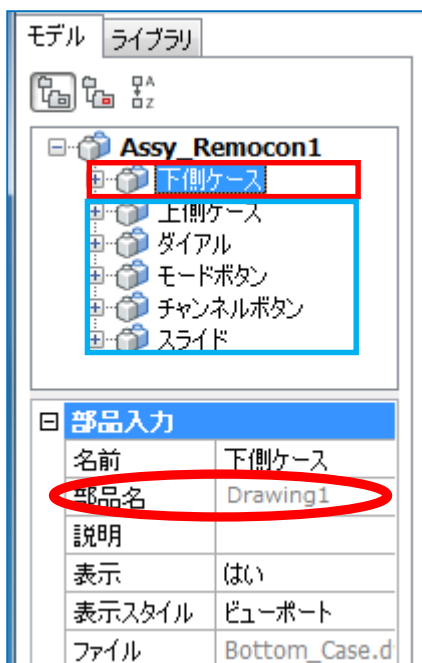


それぞれの上面、右側面等をレイアウトしてください。「ENTER」で終了です。

4. 組立図、部品図の作成(各部品名の登録)

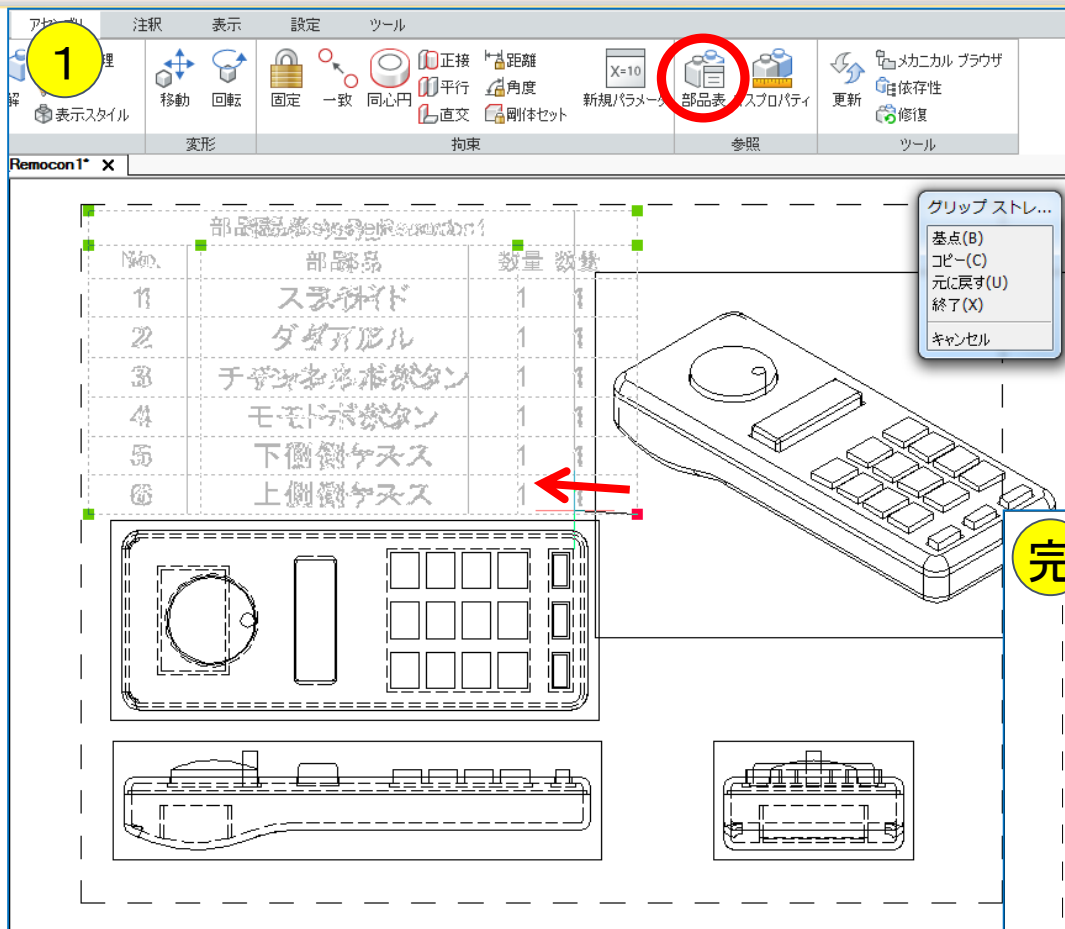
部品表を作成しますので、各部品に部品名を入力しておきます。
これは、各部品を作成する時に入力しておけば、問題ありませんが、今回のように後からでも入力変更をすることができます。
各部品を開いて①から③を繰り返してください。

最後に、「Assy_Remocon1」図面にて
④の「更新」作業を行えば、完了です。



4. メニューの「アセンブリ」「ツール」「更新」コマンドです。

4. 組立図、部品図の作成(部品表の作成)



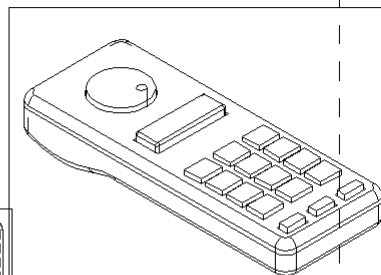
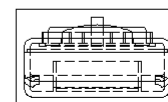
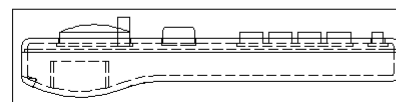
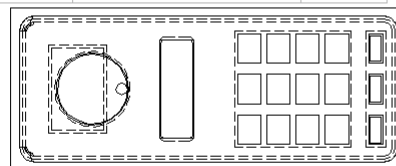
1. メニューの「アセンブリ」「参照」「部品表」を選択し、図面に部品表を作成します。

部品表の大きさは、一旦部品表を選択し、右下の角のグリップを移動することにより変更することができます。(縮小はできません。)

完

部品表 Assy_Remocon1

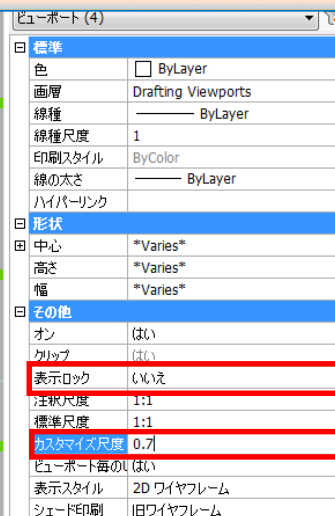
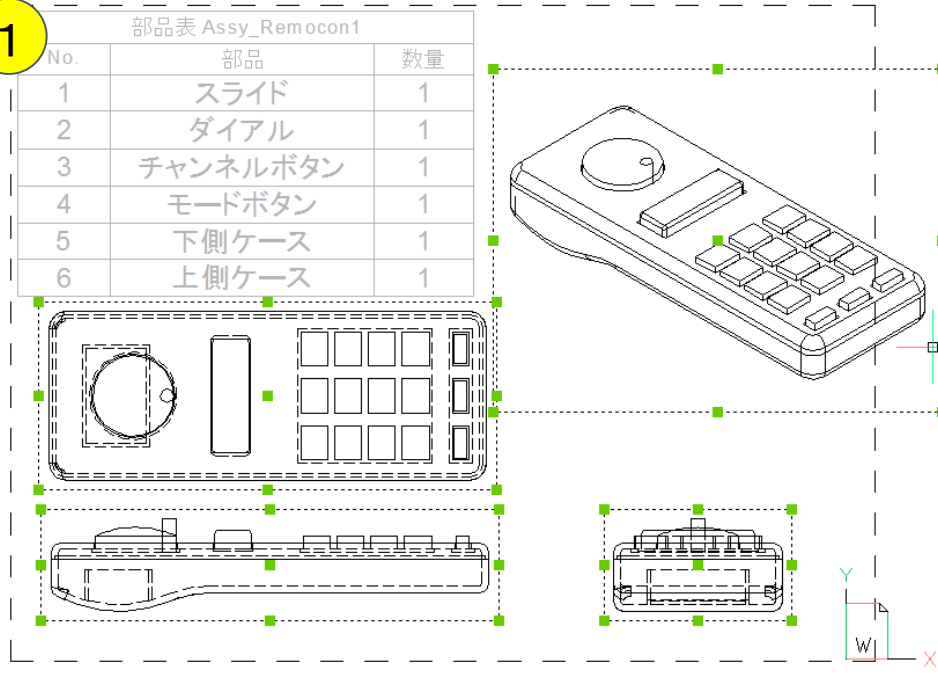
No.	部品	数量
1	スライド	1
2	ダイヤル	1
3	チャンネルボタン	1
4	モードボタン	1
5	下側ケース	1
6	上側ケース	1



※部品表は、各部品の部品名を抽出し、自動で表を作成します。

4. 組立図、部品図の作成(ビューの設定変更)

1

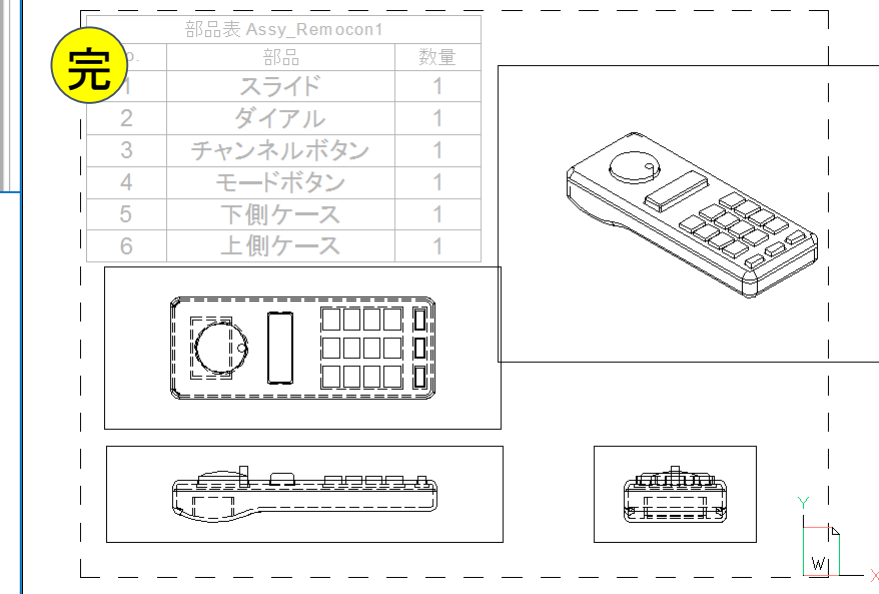


1. 表示のロックを解除し、図形を全体的に少し小さく表示します。

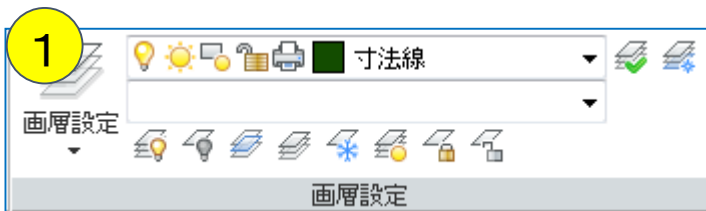
プロパティバーの表示ロックを「いいえ」にして、カスタム尺度を「0.7」にします。

※表示がロックされていると、ビューの中で図形の大きさを変えることができません。

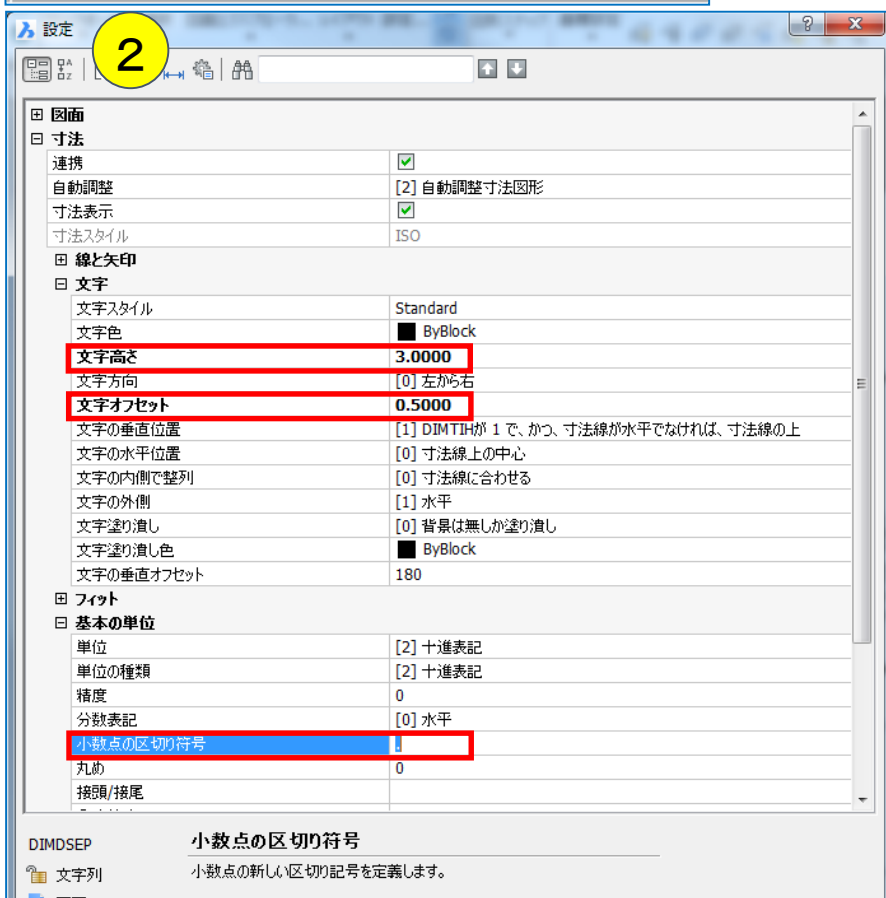
完



4. 組立図、部品図の作成(寸法線の設定)



1. 画層を「寸法線」にします。
寸法線画層が無い場合は、作成してください。



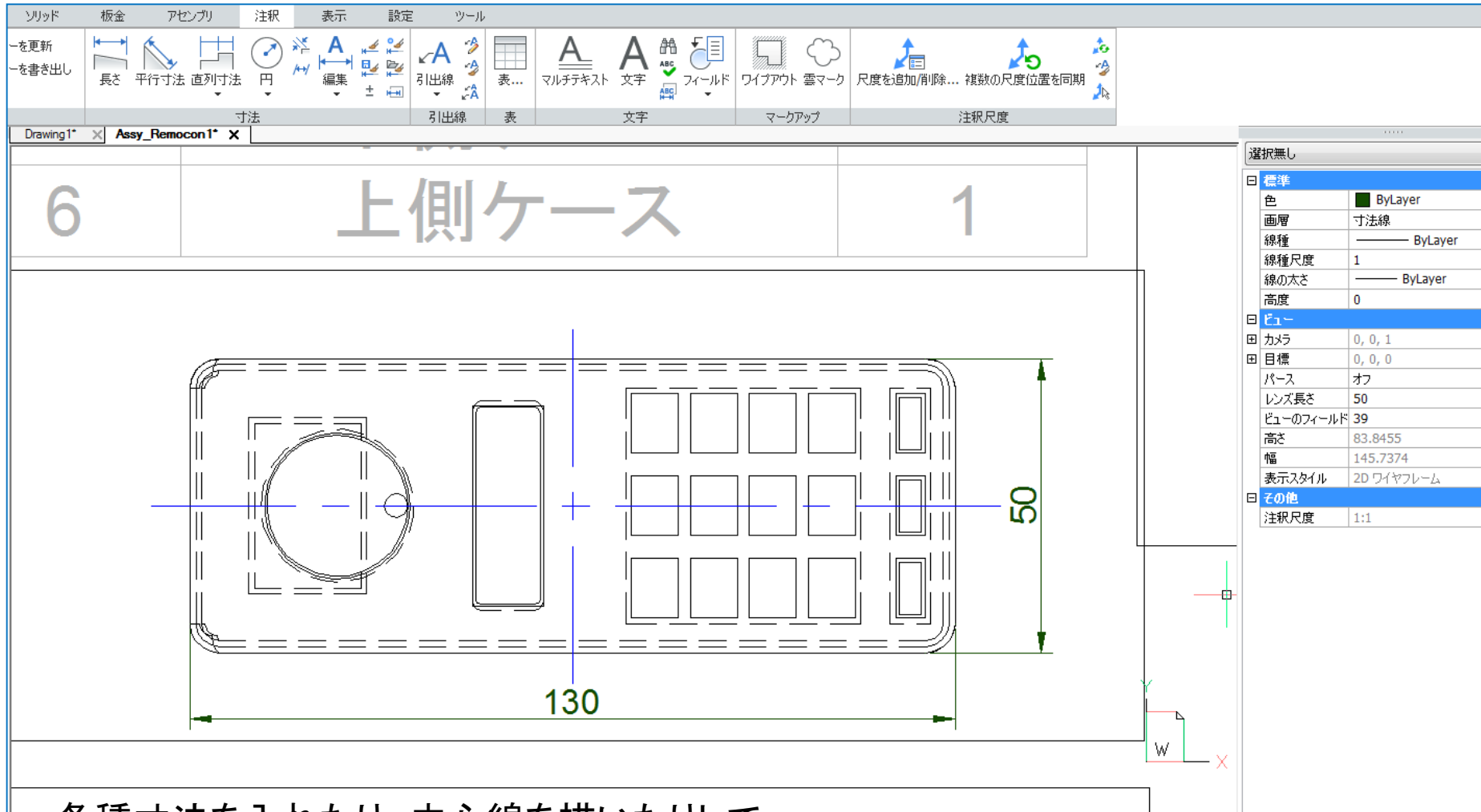
2. 設定にて寸法の「文字高さ」
「文字オフセット」「小数点の区
切り符号」を設定します。

文字高さ→3mm

文字オフセット→0.5mm

小数点区切り記号→「.」(ドット)
とします。

4. 組立図、部品図の作成(寸法線の入力)



各種寸法を入れたり、中心線を描いたりして
図面を作成してみてください。

4. 組立図、部品図の作成(ビュー枠線の非表示)

1

部品表 Assy_Remocon1

No.	部品	数量
1	スライド	1
2	ダイヤル	1
3	チャンネルボタン	1
4	モードボタン	1
5	下側ケース	1
6	上側ケース	1

BricsCAD V16
リモコン組立図

2

画層設定 [Assy_Remocon1.dwg]

現在	画層名	説明	オン/オフ	フリーズ	ロック	色	線種	線の太さ
1	0		💡	☀️	🔒	255	——実線	
2	BM_Isometric_Hidden		💡	☀️	🔒	白	---HIDDEN2	
3	BM_Isometric_Visible		💡	☀️	🔒	白	——実線	
4	BM_Ortho_Hidden		💡	☀️	🔒	白	---HIDDEN2	
5	BM_Ortho_Visible		💡	☀️	🔒	白	——実線	
6	Defpoints		💡	☀️	🔒	白	——実線	
7	Drafting Viewports		💡	☀️	🔒	白	——実線	
8	寸法線		💡	☀️	🔒	88	——実線	
9	中心線		💡	☀️	🔒	青	---CENTER2	
10	輪郭1		💡	☀️	🔒	18	——実線	

プレビュー

1. ビューの枠が表示されているので、非表示にします。

完

部品表 Assy_Remocon1

No.	部品	数量
1	スライド	1
2	ダイヤル	1
3	チャンネルボタン	1
4	モードボタン	1
5	下側ケース	1
6	上側ケース	1

BricsCAD V16
リモコン組立図

2. 「画層設定」で「Drafting Viewports」画層の表示を「オフ」にします。

4. 組立図、部品図の作成(断面図の作成)

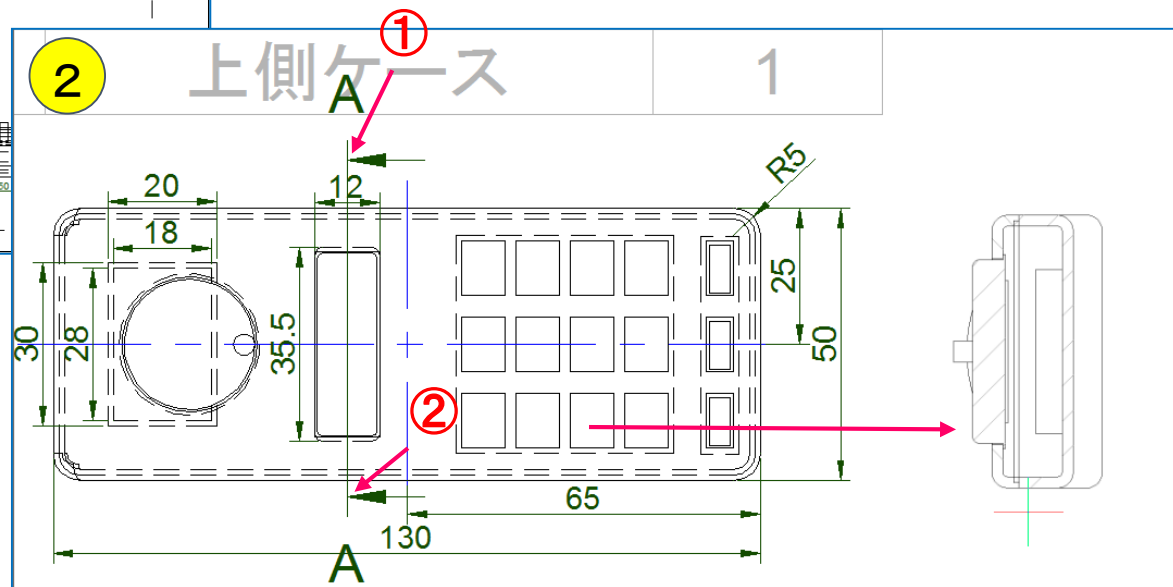
1

No.	部品	数量
1	スライド	1
2	ダイヤル	1
3	チャンネルボタン	1
4	モードボタン	1
5	下側ケース	1
6	上側ケース	1

BricsCAD V16
リモコン組立図

1. メニューの「注釈」「作図ビュー」「切断ビュー」を選択し、断面を作成するビューをピックアップします。

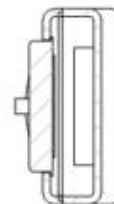
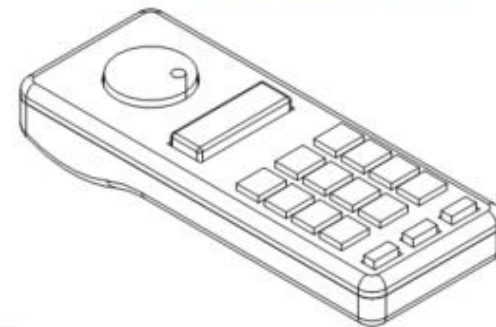
2. 切りたい断面を①②のように2点ピックアップします。
断面図をドラッグして配置したい位置で決定します。



4. 組立図、部品図の作成(完成)

部品表 Assy_Remococon1		
No.	部品	数量
1	スライド	1
2	ダイヤル	1
3	チャンネルボタン	1
4	モードボタン	1
5	下側ケース	1
6	上側ケース	1

BricsCAD V16 リモコン組立図



A-A (0.7000)

